

様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	フェアリーキッズ保育園北千里プラス	
運営法人名称	株式会社リンクス	
福祉サービスの種別	小規模保育事業	
代表者氏名	代表取締役 村上由美 施設長 中西 睦	
定員（利用人数）	19 名	
事業所所在地	〒 565-0874 吹田市古江台4-2-19	
電話番号	06 - 6170 - 3320	
F A X 番号	06 - 6170 - 3320	
ホームページアドレス	http://merryland24h.jp/fairykids_kitasenriplus/	
電子メールアドレス	kitasenriplus-kids@fairy-room.jp	
事業開始年月日	平成28年10月1日	
職員・従業員数※	正規 6 名	非正規 3 名
専門職員※	保育士 9 名（内、幼稚園教諭 4名） 調理師 5 名	
施設・設備の概要※	[設備等] 保育室 1 調理設備 1 沐浴設備 1 幼児用トイレ 1 幼児用手洗い 1	

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	0 回
前回の受審時期	年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

【理念・基本方針】

保育目標

豊かな心を育てる。
丈夫な体を育てる。
自分の力でいろいろな事にチャレンジできるを目標に、一人ひとりの個性や発達を尊重し、育成に努める。

理念

子どもたちにとって保育園が第二の家と思えるよう保護者と共に成長や遊びの経験できる環境づくりをし、「今日も楽しかった」と思えるような保育園を目指す。保護者のパートナーとして、子育ての悩みや不安なども受け止め、信頼関係を築けるよう努める。

【施設・事業所の特徴的な取組】

①英会話レッスン

・毎週1日30分 海外の講師を呼び、一人ひとりに興味を持ってもらえるよう歌やダンス、英語の絵本、動物などの英単語、カード遊びを交えながら楽しく学べるようにしています。

②行事

・年に数回、親子イベントや季節の行事を積極的に企画しています。家庭だけでは知ることができない子どもたちの活動を保護者の方にご覧いただいたり、季節の行事を伝えたりし、共に成長を喜び合えるように考えています。

③小規模ならではの家庭的保育

・小規模保育園だからこそできる家庭的保育ができ、一緒に学んだり成長していける第二の家を目指しています。保育士も余裕の持った人数配置で対応しています。

【評価機関情報】

第三者評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブ・ライフ・クラブ
大阪府認証番号	270012
評価実施期間	令和4年4月15日～令和4年9月5日
評価決定年月日	令和4年9月5日
評価調査者（役割）	1801C018（運営管理委員） 1401C047（専門職委員） （ ）

【総評】

◆評価機関総合コメント

・フェアリーキッズ保育園北千里プラス（以下、園）は、株式会社リンクス（以下、法人）の代表者が運営する7小規模保育園と1企業主導型保育園で構成されるリンクスグループ（またはフェアリーグループ）の一つとして平成28年10月にフェアリーキッズ保育園北千里に併設して開設された。その位置するところは、北摂の千里ニュータウン地区の私鉄ターミナル駅に隣接する大規模複合商業施設や飲食店等が並ぶ一角のアーケード街1階にあり、園の前面には広い通路とオープンスペースがある。そのオープンスペースは園児が水遊びなどをする場となっている。園は商業施設の建造物に囲まれているが、周辺環境は大規模集合住宅や戸建て住宅が立ち並び、その合間に緑豊かな公園が点在し、万博公園にも比較的近い距離にある自然環境に恵まれた街である。

・法人は、各園に保育基準より一人多い人員を配置し、ゆとりある保育、園児が「第二の家」と感じる園の実現を図っている。また保育には外国人講師による週1回の英会話を取り入れたり、リトミックやリズム遊び、お絵描きや工作などを通じて園児の豊かな発想を育む保育に取り組んでいる。保護者が園でのわが子の姿や様子を園日より以外にスマホやパソコンでも見られるように園のホームページ内にブログを開設して保護者に喜ばれている。

・法人内施設共通のA4サイズの大判で上質なパンフレットには、法人の目指す保育目標と理念、保育の1日の流れ、年間行事、保育内容、園児の遊びの様子、食育・給食についてなどが詳細にカラー写真を取り入れて紹介されているので、保護者等が保育園を選択する上で、法人と園のホームページと共に有効な判断材料となっている。

◆特に評価の高い点

・園の保育の向上を目指して「自己評価記入シート」を用いて毎年年度末に園長は施設全体を、職員は個々の保育内容の振り返りを実施している。そのシートの構成は、管理運営12項目50設問、保育サービス12項目35設問、職員のシートは保育内容12項目35設問と詳細なチェック内容となっている。園長は、施設と職員の自己評価結果を施設長会議で話し合い、抽出された課題を翌年度の施設運営に活かすため園内職員会議で話し合い、更なる保育の質の向上を目指している。その効果は、今回の調査事前実施の保護者アンケートの高評価にも表れている。

・施設長の熱い思いで、子どもたちのことを一番に考えた保育の実現に向けて、職員全員が努力している。ワンフロアであるが、仕切りを作って場を分けて有効活用しようと施設改善を絶えず考え、また園児の安全に対して真摯に取り組んでいる。

◆改善を求められる点

- ・法人の中・長期計画に沿った園自体の中・長期計画を、保育、人材確保、人材育成、環境整備、地域交流、収支等の内容を盛り込むこと、単年度の事業計画を中長期計画を踏まえた単年度計画を策定することを期待する。
- ・また園中・長期計画と単年度事業計画は職員会議の中で園長と幹部職員で話し合って策定するとともに、保護者に対しては園児の処遇に関する事業計画について、年度初めの「園だより」などの文書で周知することを期待する。
- ・実習生やボランティアの受け入れ、地域との関わりの希薄さが伺われるので地域との積極的な取り組みを期待する。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

総評確認いたしました。わからないことなど、丁寧に教えていただいて、理解する事ができました。いただいた結果を改善していき、より良い保育ができるように努めていきます。

◆第三者評価結果

- ・別紙「第三者評価結果」を参照

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

		評価結果
Ⅰ-1 理念・基本方針		
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
Ⅰ-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人が定める保育目標と理念が、法人内全施設共通パンフレットと法人ホームページに記載され、わかりやすい言葉と表現となっており保護者等に周知を図っている。 ・職員には入職時に説明して周知を図っているが、常に意識するためにも毎月の職員会議前に唱和して振り返ることを期待する。 ・園の「保育の内容に関する全体計画」の保育目標、保育理念がパンフレット、ホームページと統一した表現であることを望む。 	
		評価結果
Ⅰ-2 経営状況の把握		
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅰ-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、法人の園長研修や吹田市の研修で「保育行政の現状と動向について」の講習を受けて関連する情報等を把握している。 ・北千里地区内の保育所の新設情報を把握している。 ・園の経営状況や収支状況について園長に於いても法人より情報を得て把握しておくことを期待する。 	
Ⅰ-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、毎月2回、法人本部での施設長会議の中で園の運営に関する課題を話し合っている。 ・園児の転園等での欠員、経費節減等の様々な課題解決に向けて毎月の職員会議でも話し合い、解決を図っている。 ・園長は、吹田市担当部署に空き情報を連絡して早期の欠員補充を図り、職員は教材等の再利用するなどの工夫をして経費削減に努めている。 	
		評価結果
Ⅰ-3 事業計画の策定		
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の中・長期計画に沿った園自体の中・長期計画を策定することを望む。 ・園の中長期計画には、保育、人材確保、人材育成、環境整備、地域交流、収支等の内容を盛り込むことを期待する。 	

I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
(コメント)	・単年度の事業計画は確認できたが、中・長期計画が存在しないので早期に中長期計画を策定し、それを踏まえた単年度計画を策定することを期待する。	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c
(コメント)	・本年度の事業計画の策定には職員が関与せず、周知も図られていない。 ・今後は、法人が示す中・長期計画に沿った園独自の中・長期計画とその中・長期計画に沿った毎年の事業計画を職員会議の中で園長と職員が合意の上で策定することを望む。	
I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c
(コメント)	・保護者に対して、園児の処遇に関する事業計画については、年度初め「園だより」などの文書で周知することを期待する。	

		評価結果
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園では法人の定める書式の「自己評価記入シート」を用いて毎年年度末に園長は施設全体を、職員は個々の保育内容の振り返りを実施している。 ・園のシートの構成は、管理運営12項目50設問、保育サービス12項目35設問、職員のシートは保育内容12項目35設問と詳細なチェック内容となっている。 ・園長は、施設の自己評価記入シートを法人本部に提出し、施設長会議で話し合い、抽出された課題を翌年度の施設運営に活かすため園の職員会議で話し合っている。 	
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、施設長会議で施設の「自己評価記入シート」について課題と指摘された課題を園に持ち帰り、職員会議で改善策を具体化して次年度の運営に生かすように努めている。 ・特に新型コロナを含めた感染対策、施設設備の安全チェックと修繕、園児の事故防止対策などを計画して実施している。 	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

		評価結果
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ		
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を込めている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、ホームページで自身の保育に向き合う姿勢や思いを表明している。 ・園長は、毎月の職員会議、ケース会議を主催し、職員に対して自身の考えを伝えている。 ・小規模保育園に於いても園長、各職員の担当する職務について、また園長不在時の代行者を職務分担表に文書化することを望む。 	
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、これまでの資格取得するまでの過程、毎年の施設長研修、施設長会議などに於いて保育と保育運営に関する法令について触れ、理解して園の運営に取り組んでいる。 ・園長は、職員会議で感染症対策、安全対策、虐待防止などの話し合いの折に法令順守についても話題に挙げることを期待する。 	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は「自己評価記入シート」を用いて毎年度末に施設運営と保育内容について振り返りを実施し、園の現状を把握している。 ・園長は、施設の自己評価内容を施設長会議で法人代表等と話し合い、抽出された課題を翌年度の施設運営に活かすため園の職員会議で話し合っている。 ・園長は、各職員が毎年度末に実施する保育実践振り返りのための「自己評価記入シート」で個々の保育に関する強み弱みを把握し、職員一人ひとりと話し合い、各自が受講すべき外部研修先を決めている。 	
Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、毎月の園児数、職員の勤怠状況、行事予定、保育内容、経費削減、保護者対応等とそれぞれの問題点や課題を把握し、毎月の職員会議で職員と話し合っている。 ・園長は、毎日の職員の出勤状況、園児の出席状況・健康状態、各デイリープログラムを把握し、園全体の状況把握に努め、各職員と連携し、安心・安全な保育を目指して取り組んでいる。 	

		評価結果
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成		
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園の運営規程の中に園の職員に関して専門職種、職員数、職務内容等を規定している。 ・園長は、職員の出産予定や退職希望を把握した時点で欠員が出る前に法人本部人事担当者に職員補充の要請をしている。 ・法人本部採用担当者は、定期的に法人内8園長の出身校である保育養成専門学校に各園長を同行させ、各学校の新卒予定者の採用活動に取り組んでいる。 	

II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人は園の就業規則の冒頭に、法人理念、運営方針を示し、職員の定義と職務内容を明確にしている。また、就業規則内に採用条件、労働条件、人事異動等の人事に関する規定を示して各園に就業規則を配備している。 ・園長は、各職員の人事評価を毎年7月～8月、1月～2月の年2回、法人の人事評価シートに従って実施し、法人本部に提出し、法人本部が最終決裁をしている。 ・法人は、人事評価基準を示したキャリアパス制度を導入し、職員の年間目標項目を設定した自己評価シート等を採用し、全職員にわかりやすい人事評価制度の策定を望む。 	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園では園長が各職員の勤怠管理をして、毎月パソコン集計して法人本部に報告してきているが、今後ICTを導入し勤怠管理をする予定としている。 ・法人は園の職員配置を基準より1名増やし、各職員が8時間勤務を原則とし、残業が無く休憩時間や有給休暇も取りやすい働きやすい職場となるように配慮をしている。 ・法人で民間の福利厚生サービス制度に加入し、各職員に専用カードを配布し利用を勧めている。この制度では、職員が健康診断を受診したり、様々な娯楽施設、宿泊施設、スポーツクラブなどを割安で利用できる。 	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長は、各職員が毎年度末に実施する保育実践振り返りのための「自己評価記入シート」で個々の保育に関する強み弱みを把握し、職員一人ひとりと話し合い、各自が受講すべき外部研修先を決めている。 ・園長は、各職員の人事評価を毎年7月～8月、1月～2月の年2回、法人の人事評価シートに従って実施し、法人に提出している現状がある。 ・法人は、職員一人が年間目標を自ら設定し、自らが振り返りができる自己評価シートを採用し、園長がそれぞれの職員と途中経過をチェックし最終評価をし、法人に提出する開かれた目標管理制度の構築を期待する。 	
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人は、就業規則第16条・第17条に於いて研修教育に対する規定を定め、園では法人の指示に従い毎年、年間研修計画を立て実施している。 ・法人は民間の保育専門教育機関のオンライン研修を採用し、園では各職員が空いた時間に希望する保育に関する動画で学んだり、キャリアアップ研修を受けている。 ・法人では、園長と主任保育士のマネジメント研修を外部の教育機関で毎年実施している。 ・園では、吹田市の開催する研修に各職員が園長と話し合い希望するテーマを受講している。 	
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各職員は、民間の保育専門教育機関のオンライン研修を空いた時間に希望する保育に関する動画で学んだり、キャリアアップ研修を受けている。 ・園長と主任保育士は外部の教育機関でマネジメント研修を受講している。 ・職員は、吹田市の開催する研修に園長と話し合い、希望するテーマを受講し、受講職員は講習レポートを提出し、各職員は回覧して研修内容を確認する取り組みを行っている。 	

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園では実習生を受け入れるためのマニュアルやプログラムを整備していない。 ・今後、保育士を獲得するためにも保育養成専門学校と連携して実習生を受け入れる体制を構築することを期待する。 	

	評価結果
--	-------------

II-3 運営の透明性の確保		
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人ホームページには法人内施設共通の保育目標と理念が明示されている。園ホームページには提供する保育内容が豊富な写真とわかりやすい文章で具体的に説明され、ブログで園の様子が確認できる。 ・法人ホームページ、園ホームページ共に、事業計画、事業報告、予算、決算情報までは掲載されていない。園は公費で運営されており、その説明責任を果たすうえで公表することを望む。また、苦情・相談受付体制と苦情内容と解決策も公表することを望む 	
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、法人本部より預かった小口金庫を管理し、毎月の教材や食材等の購買、保護者からの教材費等の預かり金の出納、記帳、報告業務を行い、月1回の本部経理担当者の点検を受けている。 ・法人本部では、経理規程に従い経理担当者が法人全体の経理業務を行い、顧問税理士による点検及び決算処理が行われている。 ・園の職務分掌を策定し、園長の出納等の業務内容を明確にし、全職員に周知することを望む。 	

	評価結果
--	-------------

II-4 地域との交流、地域貢献		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園の運営規程には地域及び家庭との結びつきを重視した運営を行うと明記している。 ・園が私鉄ターミナル駅に隣接する大規模商業施設1階に位置し、周りの環境が理容室、飲食店、スーパーなどであり、散歩や水遊びの時に商店街店舗の方や来店客との交流がある。 ・コロナ禍以前は地区のお祭りに職員と園児とが一緒に参加したり、ハロウィンパーティーで商店街店舗の方からお菓子をもらったりして交流していた。 	

II-4-(1)-②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園では小規模であり、受け入れできる体制と環境にはないと判断し、ボランティアの受け入れや地域の小中学校等の体験学習への協力についてのマニュアルなどは整備していない。 ・ボランティア活動の受け入れは地域社会と保育園をつなぐ柱の一つであり、園の立地状況や地域環境に合わせたボランティア等の受け入れの姿勢を示して、今後、実現に向けて努力することを望む。 	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園には吹田市保育幼稚園室、家庭児童相談室、大阪府吹田子ども家庭センター、保健所、病院、警察署、消防署などの連絡先をリスト化して、職員に周知を図っている。 ・園では吹田市保育幼稚園室とは園児の定員割れ時には担当者に空き情報を連絡し紹介を依頼している。 ・園には、定期的に吹田市委託の巡回保育相談員が来園し助言をしたり、相談に乗ってくれている。 ・園児に虐待等の疑いがある時は吹田市家庭児童相談室、大阪府吹田子ども家庭センターと連携して解決を図っている。 	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域福祉のニーズ等を把握するための取組が行われている。	c
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、商業施設建屋の管理担当者とは常に連携を取っているが、これまでは地区の自治会等との接点がなく地域の福祉ニーズなどの情報は把握できていない。 ・園長は、当該地区の民生児童委員と早期に連絡を取り、地域の子育て情報等を把握し、また園の情報を発信することを期待する。 	
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、地域の福祉ニーズの把握に努める上で地区の民生児童委員と連携して、例えば子育て支援のための相談会等が商業施設の会議室でできるなど、あらゆる方法を考えて行くことを期待する。 	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の保育目標と理念には、園児を尊重する姿勢が読み取れ、園では法人の保育目標と理念を明記した文書を職員に配付して周知を図っている。 ・法人の就業規則の服務規定には保育者として遵守すべき子どもの人権擁護の項目が明記されず、他に倫理綱領等の規程もないので早急に人権擁護の項目を追加して、職員に周知する取り組みを望む。 	

Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園には安全管理・危機管理マニュアルは整備されているが、子どものプライバシーの保護に関するマニュアルや規程が整備されていない。 ・特に園外の広場での水遊び時の子どものプライバシーを守るための手順などを職員で話し合い、取り決めることを望む。 ・園内の子ども用トイレなどを目隠しをしてプライバシーに配慮をしている。 	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人は全園共通のパンフレットを作成し、そこでは提供する保育内容をカラフルな写真やイラストをふんだんに使用して分かりやすく説明している。 ・園長は、見学希望者に個別に説明している。 ・法人はパンフレットを適宜見直し、次年度には改訂をする予定としている。 	
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時は個別に保護者に入園のしおりで詳しく説明している。 ・保育内容に変更があったときは、書面と共に口頭で保護者に説明し、且つブログでも通知をしている。 ・イスラムなどの外国人に対して職員が英語で伝える工夫が書面で確認できた。 	
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園では2歳児が転園するときは、保護者の同意を得て保育要録を転園先に提供して、保育の継続性に配慮をしている。 ・卒園転園後の相談窓口は園長としているが、書面等で保護者に渡すまでには至っていない。 ・保護者には今後の連絡先を明記した簡易な書面を手渡すことを期待する。 	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園では日頃から保護者の声をよく聞いて対応していることが、今回の調査事前アンケート調査項目の高評価で確認できた。 ・毎年度5月、9月、翌年2月の定期的な個人懇談を保護者と実施している。個人懇談報告書には、各園児の園内での人間関係、食事、排泄、睡眠、遊びの各項目の詳細な観察報告、保護者からの相談内容が記載されていた。 ・毎年恒例の行事である保護者等と園児、職員との「ふれあいフェスタ」などの行事の後に保護者アンケートを行い、保護者の意見を参考に次の行事に活かしている。 ・保護者からの相談内容や意見は、個人情報には配慮して記録に残し、園内で共有することを期待する。 	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレット、重要事項説明書に園に対する要望・苦情相談窓口として法人本部の担当者名、連絡先電話番号等が記載され、その他の相談受付として担任、苦情解決責任者として園長としているだけで他の相談方法の記載がない。 ・保護者が意見を述べやすくするためにも外部の第三者委員を設置し、相談の受付、処理の手順、結果の説明をかを文書化して保護者に周知する体制を整備すると共に、受付けた相談内容は保護者の了解を得て公表することを望む。 	

Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパフレット、重要事項説明書に園に対する要望・苦情相談窓口として法人本部の担当者名、連絡先電話番号等が記載され、その他の相談受付として担任、苦情解決責任者として園長として保護者等に周知している。 ・小規模保育園であるが、園内の事務スペースを保護者との面談スペースとして利用している。 	
Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の調査事前アンケート調査項目「・・・あなたの意見や意向を伝えることができますか。」で保護者の94%の方が「はい」と高い評価をしている。「どの先生も熱心にこちらの意向を聞いてくださいました。」との保護者からの声もあり、園では日頃から保護者の声をよく聞いて対応していることが伺える。 ・保護者からの相談内容や意見は、個人情報には配慮して記録に残し、園内で共有すると共に、可能な限り「園だより」を利用して保護者にも伝える取り組みを期待する。 	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全管理・危機管理（防災）マニュアル」を整備し、園長が責任者として体制の整備を行い、研修で得た内容を職員間で共有し、体制を整備している。 ・「ヒヤリハット」の事例収集とともに、改善策を検討し次への体制強化に心を砕いている。 ・対応の整備は行っているが、実際にはヒヤリハットの改善が不十分で、園としても体制整備や実効性の向上のためにより一層の努力を望む。 	
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生の場合、保護者に個別への連絡や全体での通知を丁寧に行い、「感染症対応マニュアル」をもとに、子どもへの安全確保の体制を整備している。 ・近隣での発生状況や市の情報をより密に収集し、早期の対応と拡大防止に向けた取り組みの強化のためにも、会社に看護師の配置を求め、より適切な体制整備の方策を講じられることを望む。 	
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の子どもの安全確保のために、毎月避難訓練を行い、マニュアルをもとに、組織的に対応できる体制は構築されている。 ・二方向に避難できる施設であり、状況に応じた対応体制が作られ、役割分担を明確にし、1日分であるが備蓄もされており、安否確認もすぐに行えるように取り組んでいる。 ・第二次避難所や関係機関との連携がまだ十分でなく、地域のつながりを深めて体制の強化を望む。 	

		評価結果
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 職員向けのサービス規定やデイリープログラムを活用して、保育士は統一した保育の提供に心を砕いている。また、細かな役割分担の中で提供される保育の統一性は保たれている。 今後は、標準的な実施方法を文書化して、保育が提供されるよう取り組みの強化を望む。 	
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 職員向けの規定の見直しを行われていないが、保育活動の中では、見直しが行われ、指導計画に反映している。 今後は、見直し作業の重要性を勘案し、定期的に見直すことを組織的な取り組みとして実施することを望む。 	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの指導計画は、入園申込書、健康報告書、入園前の面談シート等を活用して、立案されている。また、毎月の指導計画は、子どもの状態に応じて立案され、月ごとの子どもの姿を的確に把握し、策定されている。 ただ、配慮すべき事項や子育て支援の項目が、3人共通になっており、個別の支援計画になっていない。今後の対応を望む。 	
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 月間指導計画の中に、一人ひとりの保育に対する自己評価として記載があり、毎月の子ども会議の中で、話し合いが行われている。 一人ひとりの配慮すべき事項等の個別計画を立案し、評価・見直しが行われるような体制の確立を望む。 	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の子どもの様子会議の中で話し合いが行われ、児童票に記載されている。 記載内容について、園長が点検指導し、職員間で共有できるように話し合いが行われ、適切な記録が残っている。 	
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規定のもとに、書類の保存廃棄等の規定が明確にあり、施設内は狭いので、本部事務所で保管・廃棄される体制が確立されている。 園内に置かれている書類は、鍵のかかる書庫に保管され、職員には個人情報保護規定を理解し、順守できるように研修や会議で伝えられ、就業規則の中にも明記され、記録の管理体制は確立されている。 	

児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A-1 保育内容		
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な計画は、全園共通で保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、策定されている。 保育所の社会的責任の項目の中に地域との交流や連携等も盛り込まれているが、実現されていない。また、年齢の別の保育目標との整合性等、保育実情に合った全体的な計画になることを望む。 	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 施設自体がワンルームであるが、年齢別の活動に配慮して間仕切り等で空間を区切り、子どもが心地よく過ごせるように整備している。 園も感じているが、整理整頓を徹底して、広さの確保と棚等の転倒を防ぐなどの方策を講じて、環境の整備の見直しを行うことを望む。 	
A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりを気持ちを受け止め、安心して園で過ごせるように優しい言葉かけを心掛けている。恐竜になり切った男児に、その子の思いを大切に遊びに入り込んだ対応をし、「がー」と返事するなど受け止めていた。 保育を進める上で活動を急ぐあまり、大きすぎると感じる声での指示や扱い方がぞんざいを感じる部分が見受けられた。今後の対応を配慮し、改善を望む。 	
A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの状態に合わせて援助を行い、無理なく生活習慣が身につくように活動を実施している。 午睡時の着替え等に際して、子どもが戸惑いなく着替えができるように衣服を配置したり、年齢に応じた歯磨き指導の取り組みを行っている。(0歳は口にくわえる経験、1歳から歯磨き指導を行うなどの取り組みを行っていたが、現在はコロナのため中断している) 	
A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 自分で遊びが選べるように月ごとの遊びの内容を工夫して、多様な経験をすることで、自分の好きな遊びが見つかるように工夫している。 園庭がないので、近隣の公園等を活用して戸外で遊び時間を確保している。 ままごと遊びや体を動かして遊び等を経験する中で、友たちとの関係を深まるように工夫している。 	

A-1-(2)-⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンルームの中で、0歳児はパーテーションで区切られた一角で生活している。つかまり立ちができるように工夫して作られたパーテーションであるが、それを乗り越えて、危険な場合もあり、保育所として苦慮している。園としても気づいているように、0歳児の生活が確保でき、ハイハイが十分にできるような場所を工夫して保育にあたることを望む。 	
A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳児、2歳児は合同保育を行っている。食事・着替え・排泄・遊びとスペースを確保して、保育にあたっている。 ・園としても、環境整備の工夫を行うことによって、不安な部分の解消に努力しているが、まだ不十分であると感じている。 ・また、保育士間の意思統一を図ることで、保育の差異を解消し、保育にあたることの必要性を感じているので、いずれも一層の努力を望む。 	
A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	—
(コメント)	非該当	
A-1-(2)-⑧	障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	c
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもの受け入れを行ったことがないため、体制確立や研修等も実施されておらず、園として法人としての今後の取り組みに期待する。 	
A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の生活を見通して、子どもの状態を朝礼時や引継ぎノート、保育士のグループライン等で共有し、それぞれの子どものことを丁寧に見て、保育にあたっている。18:30までの保育であるため捕食の準備はしていないが、人数が少なくなる時にのみ、使える遊具を準備して、穏やかに過ごせるように保育を進めている。 	
A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	—
(コメント)	非該当	
A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康観察を丁寧に実施し、体調の変化やケガ等に細心の注意を払って保育にあたり、職員間でも情報共有している。保護者より、健康報告書を提出してもらい、発育歴・予防接種、既往歴等を把握するとともに、入園前の聞き取りで補強して、保育計画の一助としている。 ・子どもの健康管理に関するマニュアルがなく、保健計画は立案されているが、今年度初めての取り組みであり、今後のマニュアル策定等の対応の深化を望む。 	

A⑭	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の内科検診、1回の歯科検診を0歳児から実施し、健康診断記録に記載し、保護者にも健康診断の結果を書面で伝えている。 ・健康診断等の結果は保育士間でも共有し、保育での配慮を全保育士で行える体制が整備され保育に当たっている。 	
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患のある子どもについて、医師からの指示書をもとに対応を行っている。本年度から「卵」除去の給食の提供を行っている。小麦アレルギーの子どもやイスラム食「ハラール」に対しては、お弁当を持参という対応を行っている。 ・園・法人として、アレルギー疾患のある子どもへの対応強化を望む。 	
A-1-(4) 食事		
	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・食事が楽しめるように、落ち着いて食事がとれる空間を確保し、家庭との連絡を密にしながら食事を勧めている。食べ物への興味が深まるように絵本等を活用して、関心が持てるように配慮している。 ・好き嫌いや量が少ないなど配慮が必要な子どもへの対応に苦慮している。今後は、食への関心が深まり食べることが楽しくなるように、家庭との連絡をより密にして、保育にあたることを望む。 	
	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・調理員が毎日近隣のスーパー等で食材の購入を行い、自園調理にこだわって、食事の提供を行っている。 ・調理員と密に連絡を取り、食べやすい大きさや味付け等に配慮して給食の提供にあたっている。 ・衛生管理マニュアルをもとに、給食の提供を行っているが、食材等の搬入路に廃棄のボックスがあり、今後はボックスの位置を変更することを望む。 	

		評価結果
A-2 子育て支援		
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・7月より導入された連絡帳のIT化に伴い、保護者との連絡を密に行い、情報交換がスムーズに実施されている。 ・また、送迎時には、保護者に丁寧に保育の情報を伝えている。 ・アンケートにも園への信頼度が高く、保護者との密な連携がなされていることが確認できる。 	

A-2-(2) 保護者等の支援	
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の悩みなどの相談内容が、記録として残されており、園として丁寧に対応していることが伺える。 コロナ禍であるが、できるだけ保育内容を伝えたり、親子遠足を実施する中で保育の姿を伝えて対応にあたっている。
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での虐待対応が疑われる子どもの早期発見・早期対応ができるように、体制の整備を行い、関係機関と連携して予防に努めている。 吹田市の「モニタリングシート」を活用して、見落としが無いように努めている。

	評価結果
--	-------------

A-3 保育の質の向上	
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 月案の中に保育士の振り返りがあり、毎月子ども会議の中で、保育の実践や改善に努めている。また、研修等に積極的に参加し、専門性の向上に努めている。 自己評価は、年の目標を掲げ、半年ごとの見直しとともに、実践の振り返りが行えるように、体制の強化を望む。

	評価結果
--	-------------

A-4 子どもの発達・生活援助	
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助	
A-4-(1)-① 体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 重要事項説明書の中に、虐待の防止のための処置に関する事項があり、研修と虐待防止マニュアルの作成、運用があるが、就業規則の中に体罰等の子どもへの不適切な対応に対する防止と早期発見の取り組みへの記載がなく、今後の対応を望む。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	フェアリーキッズ保育園北千里プラスを利用中の子どもの保護者
調査対象者数	19世帯中17人
調査方法	アンケート調査による。アンケート用紙は、保育園に依頼し保護者に投函用封筒を添えて直接手渡した。回収は保育園に設置した回収箱へ保護者が直接投入し、園がまとめて評価機関へ返送する方法を採った。

利用者への聞き取り等の結果（概要）

フェアリーキッズ保育園北千里プラス利用している子どもの保護者19世帯に対し、1世帯1アンケート用紙を配付し、その内17通を回収した。回収率は89.5%であった。

○回答の内、満足度100%の項目は下記の5項目であった。（質問数は自由記述を除き16）

- ・保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか。
- ・入園時の説明や園の子どもたちの様子を見て、子どもを預けることの不安が軽減しましたか。
- ・園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか。
- ・健康診断の結果について、園から伝えられていますか。
- ・お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡されていますか。

○満足度90%以上の項目は下記の5項目であった。

- ・保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか。
- ・園の保育について、あなたの意見や意向を伝えることができますか。
- ・お子さんや家庭のことについて相談した内容が他人に漏れていたというような経験はありますか。

・献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていきますか。

・送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか。

○満足度80%以上の項目は下記の3項目であった。

・入園後も、保育園やクラスの様子などについて、「園だより」「クラスだより」等を通じて、判りやすく伝えられていますか。

・給食メニューは充実していますか。

・日常的な情報交換に加え、別の機会を設け手相談に應じたり、個別相談など行ったりしていますか。

以上のように、アンケート結果は質問項目の8割の項目において満足度が高い。

自由回答欄にも保育園の保育全般および先生方に対し、感謝の言葉が多数記載されており、保護者の保育への信頼・満足度の高い内容となっている。

・小規模保育のため、今までできなかったことができるようになるまでの過程を見届けてくれる。親の見えていない少しの変化でも伝えてもらったのは、子どもの成長を共感でき、うれしく思います。

・転園で保育園恐怖症になっていたのがウソのように園では皆さんのことが大好きになってくれました。顔つきもすっかり変わり、知らない人にもどんどんお話ができる子に戻ってくれました。

他多数の感謝の言葉があった。

要望などの声は少なかった。

- ・子育てのアドバイスなど相談に乗ってほしい。
- ・歯磨きをさせて欲しい。

以上

福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等